

## クラブ活動報告

### 社会奉仕委員会による地区補助金事業活動報告

田辺ロータリークラブ  
社会奉仕委員長 松本 哲

NPO 南紀こどもステーション子育て支援事業の

【未来を創る子供たちを地域のみんなで育てよう子育て支援センター】

地区補助金を活用して事業資金が 200 万円の設定で、NPO 南紀こどもステーションさんに支援事業の打診を、行ったところ、現状の活動では時間の制限等があり 活動を広げるにあたり、自由に使える活動拠点となる家を探してほしいとの要望があり。2025 年 1 月に田辺市の空家対策事業の中の非公開物件の情報を頂き、NPO 南紀こどもステーション・役所・ロータリーの関係者で現地視察を行い、市物件は非常に気に入って頂きました。所有者より、NPO が活動拠点にするなら物件を無償提供の申出がありました。古民家であるゆえに、所有となると、今後の維持管理費等の面で所有ではなく、借家をお願いしたいとの事でした。家賃等、所有のメリットを伝え、数回の会議を重ねましたが、結論には至りませんでした。

2025 年 3 月 12 日 地区の新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議が和歌山県 JA ビルであり大木会長が事業のプレゼンテーションを行いました。

地区社会奉仕委員長からの『各クラブの計画中の社会奉仕事業を参考に事業成功へのプロセスを考え、ロータリーらしい地域に求められる事業に着手するための方法を試行したいと考えます』と、皆さんからたくさんの意見や提案を頂き、有意義なプレゼンでした。

4 月 25 日 NPO 法人より TEL 理事会では建物所有権については OK 決定との事で、所有の了解を取り付けるに至りましたが、無償提供では、元の所有者に贈与税が掛かる事がわかり、市役所の担当者が税務署との交渉により、双方に税が掛からないようになり 5 月に補助金申請を行い、地区より 10 月 21 日に補助金振込の連絡を頂きました。

7 月 30 日 NPO 法人に登記完了

浄化槽の申請でも、NPO 南紀こどもステーションの使用目的は子育て支援では、浄化槽の 5 人槽・7 人槽・10 人槽の判断ができないので、県での見解を伺うことでも折り合わず、浄化槽協会の見解の相違で 2 か月を経て、7 人槽で、2 階と浴室は使用しない条件で、7 人槽に落ち着き工事が出来る事になりました。

11 月から 1 月に掛けて工事を行い 1 月 21 日に関係者により見学会を行い完成を喜び合いました。



会員による建物の中と付近の片づけ



子ども遊び場



浄化槽7人槽設置



洋室



和室



避難路設置



建物外観



見学会参加者